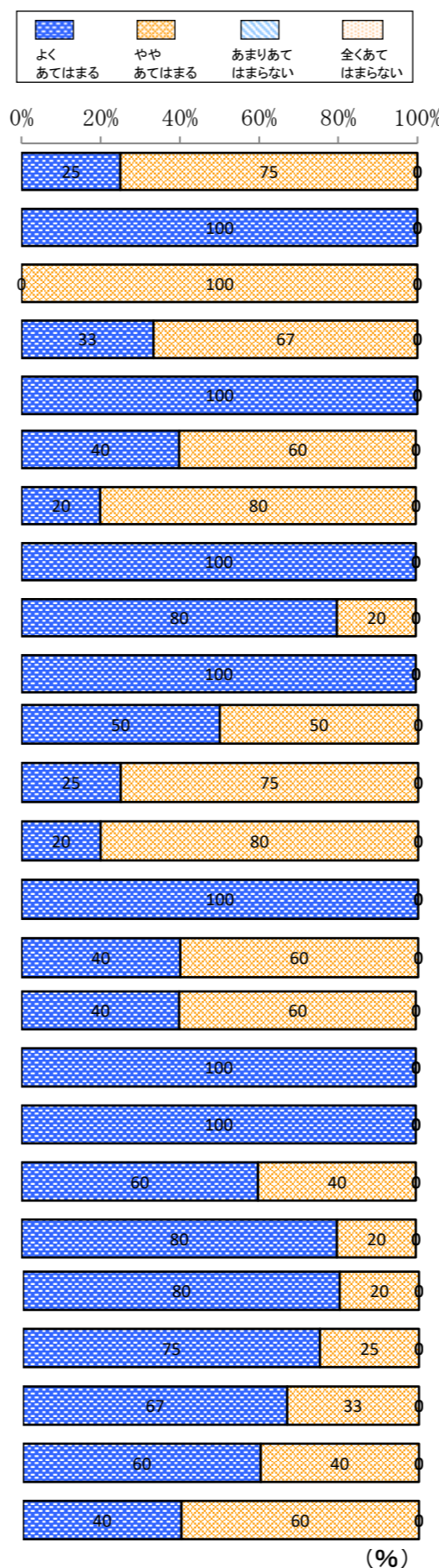


	評価項目	評価結果	評価結果			
			A	B	C	D
学校全体の様子	1 教育目標・方針	児童・生徒や保護者等と共有できるように学校の教育目標を示し、方針を説明している。	1	3		
	2 児童・生徒の様子	児童・生徒は、明るく素直で、生き生きとした楽しい学校生活を送っている。	5			
	3 基本的な生活習慣	児童・生徒の服装や通学態度、挨拶など基本的な生活習慣がしっかりしている。		4		
	4 児童・生徒理解	児童・生徒の良さや努力しているところを見つけ、励まし、理解しながら一人一人の能力を伸ばすように努めている。	2	4		
	5 健康・安全・安心	児童・生徒の健康や安全（確保・対策）に配慮するとともに、主体的に行動できる防災教育を充実している。	5			
学力向上の取組	6 分かる授業	楽しく分かりやすい授業が実践されている。	2	3		
	7 個に応じた指導	習熟度別学習等、児童・生徒一人一人の理解の程度に応じた学習指導が行われている。	1	4		
	8 学習習慣	放課後の補充指導等を行うとともに、家庭での学習課題を提示する等、学習習慣の定着を図る工夫をしている。	5			
	9 情報教育	タブレットPCなど、ICT機器を活用した教育を推進しながら、情報活用能力の育成に向けて取り組んでいる。	4	1		
	10 学校図書館の活用	読書と学習に役立つ学校図書館として活用されている。	5			
社会性・人間性の育成	11 人権教育	自他を大切にし、偏見や差別を許さない豊かな人権感覚を育てる教育を行っている。	3	3		
	12 道徳教育	生命を大切にする気持ちや他人を思いやる心、善悪の判断や規範意識を育てる等、道徳性をはぐむ教育を行っている。	1	3		
	13 教育相談	教育相談を充実し、いじめや不登校を防止する等児童・生徒一人一人の居場所がある学校づくりに努めている。	1	4		
	14 人間関係づくり	学校行事等の教育活動を工夫し、体験活動を充実させながら望ましい人間関係が築けるよう取り組んでいる。	5			
	15 自治的な活動	学級活動や児童会・生徒会活動等で、児童・生徒が自発的・自治的に活動できるように工夫しながら指導している。	2	3		
保護者・地域との連携	16 情報発信	学校便りや学年便り、学校ホームページ等で、保護者や地域の方に、学校の教育活動の様子を分かりやすく知らせている。	2	3		
	17 相談への対応	児童・生徒や保護者からの連絡や相談を丁寧に受け止め、適切な対応をしている。	4			
	18 学校への参加	学校行事等では、保護者や地域の方が参加しやすいように工夫している。	5			
	19 地域との連携	地域の行事などに協力的で、連携を図っている。	3	2		
	20 意見の反映	保護者や地域から寄せられた意見や要望を受け止め、学校運営と教育活動の改善に努めている。	4	1		
各学校の特色ある教育	21 今年度の重点目標	他を認め、共に行動できる子供の育成に努めている。	4	1		
	22 体力づくり	体を動かすことが楽しくなるような教育活動を行っている。	3	1		
	23 チャレンジ精神の育成	チャレンジ精神と主体性を醸成するための教育活動を行っている。	2	1		
	24 自己理解・自己育成	児童のよさや課題を理解し、可能性を引き出す指導をしている。	3	2		
	25 体験活動の重視	自然・人・社会（本物）に触れる体験活動を計画的に行っている。	2	3		

(人数)



(%)

評価委員会からのコメント

○このような細かい評価は、外部の人間からは分かりかねる部分もあるので、不明な部分は評価できませんでした。しかし、この度のように色々な方面からの評価を踏まえて分析し、今後の教育方針に生かしていく等、学校の努力は素晴らしいと思います。努力は必ず結果に表れると信じます。児童・生徒さんたちのこれまで以上の、楽しく明るく生き生きとした学校生活を送れると信じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

○「児童・生徒は、明るく素直で生き生きとした学校生活を送っている」という項目は、児童・保護者等・教職員がよくあてはまる、ややあてはまるに回答している。これは、学校生活の大原則であり、不登校にならないために必要だと思います。服装・通学態度・挨拶は基本的なことなので、元気よく挨拶できる児童が少しでも増えるよう、今後も取り組んで欲しいです。二日小は、今年度若手や新任の教職員の方が多いため、クラスによって学力差が出てしまうのは良くないので、今後も校内研究や校外での研修や出張に参加して、授業力の向上に取り組んで欲しいです。学力は当然大事なことですが、①人権教育と②道徳教育は、人間形成においても重要な教育だと思います。

○池田校長・教職員の皆様の真摯な教育への取り組みにより昨年に比し全体的に評価は高まったと思います。常に前向きな姿勢に敬意を表します。なお、敢えて次の通りコメントいたします。項目③「基本的な生活習慣」学校生活より家庭生活での比重が高いと考えられるので、学校から保護者宛にきめ細かい指導的情報を提供してみるのも一つの方法と考えます。項目⑥「分かる授業」「自己評価」で示された方針を推進されれば解決されると思います。項目⑦「個に応じた指導」保護者・教職員ともに問題を感じており、児童と教職員とのより密接な意思疎通を図ることで解決の糸口が見つけられないでしょうか。項目⑩「学校図書館の活用」全体的にはよく活用されていると言えるが、教職員側と少数の児童には「当てはまらない」という回答もあり、何らかの意見の吸い上げも考えてもよいのではないかと考えます。項目⑬「教育相談」教職員は100%「当てはまる」に対して児童・保護者は20%「当てはまらない」「分からない」と回答している。難しい問題ではあるが、教職員と児童・保護者とのコミュニケーションが大切であると考えます。項目⑳「意見の反映」項目㉑「今年度の重点目標」については、「自己評価」のコメントの通りで今後期待したいと思います。

○公開授業で、普段と違う子供たちの様子が見られて良かったです。各学年、クラスそれぞれ個性的な授業で教室の空気が皆異なっていました。学校内では、顔見知りでない人にも、自然に挨拶ができるようになるとういと思いました。

○昨年と同様に、十分な時間をかけて学校全体の様子を見ていないので、自己分析表を見ての判断になっています。先生方が自らに厳しく評価されていることが読み取れます。